

令和2年を振り返る

杉並区の主な出来事

本年は社会全体が新型コロナウイルス感染症対策に追われた激動の1年となりました。区の取り組みなどを振り返ります。



杉並区帰国者・接触者電話相談センター、帰国者・接触者外来の設置

新型コロナウイルス感染症対策のため、杉並区帰国者・接触者電話相談センター（現・杉並区受診・相談センター）、帰国者・接触者外来を設置しました。



区立学校等の臨時休業、区事業の休止

国の要請を受け、区立学校の臨時休業を行ったほか、区立施設の運営やイベント・相談業務などの事業も休止を余儀なくされました。

中小企業への支援開始

特例資金融資（3月から）、店舗家賃助成（6月から）、環境整備支援助成（8月から）などの支援策を講じるとともに、国への助成申請を支援する取り組み等を実施しました。



3年連続で保育の待機児童ゼロを実現

区内基幹4病院における発熱外来の設置支援

杉並区医師会と連携し、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるための発熱外来の設置や入院病床の増床などに取り組む基幹4病院に対して、入院・外来体制強化補助金を創設しました。

フードシェアリングサービス事業者と食品ロス削減協定を締結

売り切れない商品を廉価で販売する店舗と消費者をスマートフォンアプリ「TABETE」(タベテ) でマッチングする事業を展開しているコーキッキングと都内で初めて食品ロス削減協定を締結しました。



特別定額給付金の申請受け付け・給付の開始

ふるさと納税の新メニュー「新型コロナウイルス感染症対策寄附金」の創設

区の新型コロナ対策に活用する寄附金を創設し、11月末までに合計435件、2536万6352円の寄附が寄せられました。



文化・芸術の場と活動の支援（すぎなみアート応援事業）

コロナ禍で打撃を受けた文化・芸術活動を守るため、新たな助成金を創設するとともに、友好提携を結ぶ日本フィルへの活動助成を行いました。



区内医療機関等におけるPCR検査体制の拡充

地域の診療所等での検体採取を開始するとともに、病院設置型PCR検査スポットの拡充、生活衛生課分室（旧衛生試験所）でのPCR検査判定の開始（7月）、区PCR検査バスの導入（10月）等により、検査体制の強化を図りました。



杉並区基本構想審議会において新基本構想の審議を開始

杉並区基本構想（10年ビジョン）が3年度に終期を迎えることから、4年度を始期とする新基本構想を策定するため、杉並区基本構想審議会において審議を開始しました。



杉並区立中央図書館がリニューアルオープン

外観はそのままに館内のレイアウトを一新し、読書や学習環境の向上等を図るとともに、カフェやウッドデッキの「本の広場」を設けるなど、くつろぎの場を整備しました。



勤労福祉会館・西荻地域区民センターがリニューアルオープン

ウィズコロナの視点に立ったすぎなみフェスタ2020の開催

「新型コロナウイルス感染症対策に従事された多くの方みんなの『ありがとう』を届けよう」をサブタイトルに掲げ、感染予防対策に万全を期して開催しました。

AIロボットによる案内業務の実証実験の実施

区役所本庁舎の案内業務にAI技術を活用する効果を検証するため実証実験を行いました。



杉並商店街応援キャンペーンの実施



コロナ禍において、区内商店街の利用促進を図るため、総額2億円のお買い物券が当たる商店街応援キャンペーンを実施しています。



近藤淳氏、久保田淳氏を名誉区民に決定（8面参照）